

ae 社協だより

なごみ

2020年
4月号

No.177

発行

社会福祉法人 橋本市社会福祉協議会
〒648-0072 橋本市東家1丁目3番1号
橋本市保健福祉センター2階
電話 33-0294 FAX 33-4377
<http://hashimoto-syakyō.jp>

コロナ終息祈願！

バルーンリリースプロジェクト in はしもと

ご協力いただきありがとうございました

生活支援体制整備事業 地域の支え合い・助けあいの取り組み

●地域の基盤体制(第2層協議体)

誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、住民のみなさんが、主体となった話し合いの場(協議体)が設置されています。各協議体で地域の実情に応じた取り組みが始まろうとしています。現在、市内9地区において発足していますのでご紹介いたします。引き続き、みなさんの積極的な取り組みを支援していきます。



つなごろう橋本

平成 30 年 3 月 8 日発足

高齢者に関する制度やサービスを学ぶ機会をつくったり、モデル地区でのアンケート調査等に取組んでいます。



ふれあって山田

平成 31 年 2 月 8 日発足

各地域が主体となって、実情に応じた取り組みを進めようとして話し合いが始まっています。



君来たひろば

平成 30 年 3 月 8 日発足

75歳以上の一人暮らし高齢者を地域で見守る仕組みづくりについて、話し合いが始まっています。



広げよう紀見の和の会

平成 30 年 7 月 24 日発足

高齢者に関する制度やサービス、先進地事例を学ぶ機会をつくっています。



たすけ合う隅田

平成 30 年 2 月 14 日発足

各地域が主体となって、実情に応じた取り組みが始まっています。全体に広げていくために協議体で共有しています。



あったか恋し野

平成 30 年 5 月 18 日発足

身近な地域の中で、話ができたり、相談できたり、誰でも気軽に訪れることができる仕組みづくりを始めようとしています。



絆♥学文路

平成 30 年 12 月 5 日発足

地域全体で高齢者への見守り・声掛けをしていく仕組みづくりに向けて話し合いを進めていきます。



ささえ愛高野口

平成 29 年 12 月 7 日発足

高齢者の日常生活の中で、ちょっとした困りごとを地域の有志の方でお手伝いできる仕組みを4月から開始予定です。



たすけ愛信太

平成 30 年 2 月 8 日発足

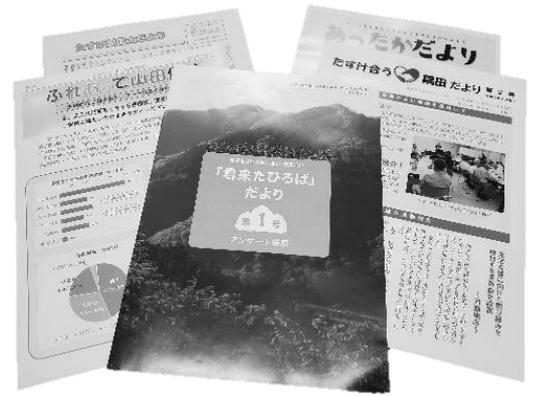
今できる小さな支援から始めていこうという話し合いをしています。また、外出や買い物、災害時における支援をどうしていくかを継続して研究しています。

●各協議体の取組みを情報発信

9つの地区（協議体）では、区長・民生委員・老人クラブ・げんきらり～教室・サロンなど地域の主要な方々が参加してくれています。

協議体の運営は、参加してくれている中から、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を選任して、中心となって運営してくれています。

各協議体によっては、話し合いの様子や各地域の取組みなどを知ってもらうために住民のみなさんが工夫して作成した広報誌を発行しています。市の広報とあわせて、適宜、配布されますので、是非、ご覧ください。本会および市いきいき健康課窓口に配架しています。本会のホームページからもダウンロードできます。



令和2年度広域同時多発災害対応訓練

紀北の広域で局地的豪雨を被害想定として、和歌山市・海南市・高野町に災害ボランティアセンターを設置し、運営する合同訓練を行いました。本会職員は高野町への運営支援を行いました。

ボランティアの活動拠点となるセンターでは、コロナ禍であっても、安心して駆けつけてもらえる体制が必要となります。今回の訓練では、そのための確認・点検を通して、日ごろからの備えについて学ぶ機会となりました。

善意のお気持ち

市社会福祉協議会では、市民のみなさまからの「地域のために使ってほしい」という思いのこもった金銭や物品等をお預かりして、地域福祉のために大切に使っています。みなさまのあたたかい善意をお待ちしています。

【遺志金】

- 池永恵司 様（古佐田） 50,000円
亡妻 池永三知子 様の遺志として

【一般寄付】

- 匿名 12,345円

【寄贈品】

- 匿名

使用済み切手・書き損じはがき等をいただきました

（敬称略）

増尾幸子/北本一美/福本富美子/柳田ミサ子/
深井千恵子/池之側 喬/辻 眞理/小川輝樹/
森下美代子/武井みつる/匿名
(株)リビングセンター長野/紀泉物流(株)/
退職公務員連盟橋本支部/橋本市/
あんずケアステーション/城山台花ボランティア/
紀見北地区民生委員児童委員協議会/
学文路地区公民館/紀和産業協業組合

無料
配布

もしもの時のお助けアイテム

●救急医療情報キット「あんしんカプセル」

あんしんカプセルは、自宅で急に体調が悪くなるなど、救急搬送時に必要な「持病」「医療情報」「緊急時連絡先」などの情報を記したカードをカプセルに入れ冷蔵庫に保管、救急隊員から医師に必要な情報を伝え、迅速な治療に役立ちます。

- *カプセルはペットボトル（500ml）程度の大きさ
- *お一人様につき1セット（カプセル、情報カード等）



●私の思いノート「エンディングノート」

「いざという時」に、あなたの大切な人へあなたの「思い」（思い）を伝えます。「もしもの時」に役立つよう、自分の大切な情報を記録しておきましょう。内容は、私のプロフィール（預貯金・保険・年金等）、病気（告知・延命治療）、介護が必要になった時、葬儀、お墓等です。

- *ノートは B5版52ページ
- *お一人様1冊



日常生活を支える車椅子や福祉車両の貸し出しを行っています



① 車椅子

市内在住の方で、一時的に車椅子を必要とする方。利用期間は原則2週間程度もしくは1か月以内です。費用は無料です。

②③ 福祉車両

市内在住の障がい者、高齢者、歩行が困難で車椅子を利用されている方。原則3日以内が利用期間です。費用は無料です（使用燃料のみ自己負担）。申請は、希望する日の3か月前から1週間前までに提出が必要です。

※いずれも利用前にお電話で空き状況等をご確認ください。

電話：33-0294

社協の相談事業

相談予定カレンダー

◎心配ごと相談

4月2日（金）・5日（月）・19日（月）
13:00～16:00
日常生活の悩みごとや心配ごと。

◎暮らしの安全・防災のご相談

4月1日（木）13:00～16:00
テーマ：地震直後の避難行動

◎まちの法律家なんでも相談

4月15日（木）13:00～16:00
相続・遺言・成年後見制度など
※要予約（先着4名まで）

◎生活福祉資金貸付相談

（月）～（金）9:00～17:00
失業による生活再建、入学・就学費など

◎介護相談

（月）～（金）9:00～17:00
介護に関すること

※相談場所はいずれも橋本市保健福祉センター。
（心配ごと相談は金曜日のみ高野口地区公民館）
※相談に関する問い合わせ先は、市社会福祉協議会
電話：33-0294まで。



橋本防災士の会より

もしもの時のいつもの備え

Vol.15 地震直後の避難行動

●戸を開けて出口を確保する

窓やドアなどを開けて出口を確保する。特に、マンションなどの出口の確保が重要。逃げ道を失ったら避難ができない。

●避難する前の確認

- ・火の始末：ガスコンロやストーブなどの元栓を止める。
- ・電気の始末：ブレーカー内のメインブレーカーをOFFにし、コンセントなどを抜く。

●外に逃げる

- ・あわてず落ち着いた行動をし、逃げるときは瓦やガラス、看板などの落下に注意する。
- ・狭い道やブロック塀、門柱、自動販売機などは倒れやすいので要注意です。



※防災士資格をお持ちの方、橋本防災士の会に参加しませんか。会では現在、2名の女性会員がおられます。女性の方、歓迎します。



広報は、みなさまにご協力いただいた社協会費・赤い羽根共同募金により発行しています。